

Ⅳ-4 経営企画部長まとめ

2015年12月の「国連気候変動枠組条約締約国会議(COP)」におけるパリ協定を受けて、政府は2016年5月に目標達成に向けた地球温暖化対策計画を策定しました。同計画を踏まえ、当社は中核事業である鉄道事業について、2030年度までに2013年度比でエネルギー使用量25%およびCO₂排出量40%削減をめざす新たな目標を定めました。この目標達成に向けて、従来からの2020年度目標の達成に向けた省エネルギー車両の導入や、照明のLED化など、各種施策を着実に推進するとともに、自動省エネ運転実現や高性能蓄電池活用などのシステム革新などについて検討を行ってまいります。

こうした環境問題への対応をはじめとして、当社グループは、企業の社会的責任(CSR)を果たし、未来へ向けた持続可能な社会の実現に貢献するために、さまざまな活動を継続しています。「グループ経営構想V」において、「安全で品質の高いサービスを提供すること」「地域の発展に貢献すること」を「変わらぬ使命」と位置づけ、経営の最重要課題である安全性の向上や、社会への貢献にも積極的に取り組んでいるところです。

「CSR報告書2016」では、このような当社グループの安全・社会・環境に関わる活動について、多くの定量的なデータを記載し、写真や図などを用いて分かりやすく紹介しております。特に、今年度からCSR報告に関する世界的な基準である「GRIガイドライン第4版(G4)」に準拠しました。「グループ経営構想V」に掲げている基本コンセプトおよび経営課題を重要側面(マテリアリティ)として位置づけるとともに、この基準の特徴である一般標準開示項目および特定標準開示項目に対応し、対照表とあわせて本文に記載しております。なお、本報告書は引き続き「安全報告書」としての役割も兼ねております。

加えて、「特集」として、「安全・安定輸送のレベルアップ」やインバウンド戦略の推進などを取り上げるとともに、「VOICE」(インタビュー)として、都市鉄道「パープルライン(タイ・バンコク)」開業に取り組んだ当社グループ社員などの声を掲載しております。これらにより、国内外のステークホルダーの皆さまに、当社グループへのご理解をより深めていただきたいと考えております。

なお、このCSR報告書は、当社グループの取組みについて詳細を記載したWEB版であり、この他に内容を簡潔にまとめた「冊子版」をご用意しております。

今後も「グループ経営構想V」に基づき、変化の激しい国内外の動向も視野に入れながら、社会から寄せられるご期待やステークホルダーの皆さまからの信頼に応える企業グループをめざしてまいります。



執行役員
総合企画本部 経営企画部長
坂井 研